



株式会社 オプトラ

2025年12月期連結決算説明会

2025年12月期4Q/通期の連結概要と次期ガイダンス

2026年2月13日

将来の見通しに関する記述



□ 将来の見通しについて

本資料には、「将来の見通しに関する記述」が含まれています。この記述には、当社の事業と市場における予想される成長と傾向、業界の見通しと需要要因、当社の投資と成長戦略、新製品と新技術の開発、現在および今後の事業見通しに関するものが含まれます。今後、さまざまな外部要因・内部要因の変化により、予想・計画見通しと大きく異なる可能性があります。更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。一方、日本取引所グループ(JPX)は2024年9月に東証株価指数(TOPIX)の新たな改革案を公表し、2028年7月までに段階的に採用銘柄数を絞り込む予定。選定基準は継続基準において年間売買回転率0.14以上、浮動株時価総額の累積比率の上位97位以内です。当社は選定基準に該当するように対応を進めております。

□ 為替リスクについて

当社の主力製品である製造装置の輸出売上高は、米ドル建ての依存度が高いことから、米ドルの為替変動の影響を受けます。製造原価は、中華圏生産の依存度が高いことから、中国元の変動影響を受けます。業績見通しの為替前提は、過去の実績を踏まえて想定し、為替変動影響の軽減を目指しています。輸出先は中華圏の依存度が高いものの、最終需要先は世界的に広がっています。相互関税の影響に備えて、生産・開発体制として日本、中華圏、ベトナム、インドなどでの拠点拡充を計画しています。2026/12期の為替前提は148円/ドル、22.0円/人民元。営業利益感応度(年換算)は1円/ドルの円高で▲1.5億円、0.1円/人民元の円高で+1億円の影響があります。

□ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は1999年8月に光学薄膜成膜装置企業として創業し、四半期を経過しています。2026年からは第2次創業として、まず成膜製品事業の軌道化やパートナーシップ企業連携強化により光学薄膜成膜企業に変革し、更にシリコンフォトニクス事業の立ち上げで光学融合企業に進化させる計画です。当社は資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針として、中期経営目標において「親会社株主に帰属する当期純利益率15%以上」、「ROE(自己資本利益率)10%以上」、「連結配当性向30%以上」、などを定めています。キャッシュ・アロケーションとして、株主価値の向上にむけて、安定配当と機動的な自己株式取得を行う想定。持続的な成長を見据え、研究開発、設備投資や多様な事業提携やM&Aなどを戦略的に実施することも計画しています。

□ 問い合わせ先

問い合わせ先は、E-mail: ir-info@optorun.co.jp

Webサイト: <https://www.optorun.co.jp>

2025年12月期の連結概要と次期ガイダンス

□ 受注高(実質)の25/12期4Q及び、通期概要と26/12期1Qガイダンス

受注高(実質)は25/12期4Qが前四半期比27%増(前年比72%増)の133億円と社内計画と比較して37億円過達。26/12期1Qの出足はAIスマートフォン(スマホ関連)や光通信関連が順調なことから、100億円を超えると想定。4Qの内訳は半導体光学融合・電子デバイス(半導体・電子関連)が前四半期比6%減と減速したが、スマホ関連が同25%増、EV/コネクテッドカー(自動車関連)が同48%増、光学部品が半導体製造装置や光通信関連の増加により同52%増と拡大。通期は前年比43%増の412億円と過去3番目の高水準まで回復。事業領域別にはスマホ関連が同65%増の141億円(構成比34%)、光学部品が同45%増の120億円(同29%)、自動車関連が同27%増の75億円(同18%)、半導体・電子が同71%増の48億円(同12%)と分散化した。

□ 25/12期連結業績の概要

25/12期は売上高が計画を上回ったが、利益面は未達。営業利益は一時的な費用増加(棚卸資産減損、貸倒引当金など)13億円の影響で、同49%減の33億円。経常利益は安徽繁楓新能源科技(繁楓)の上場申請に伴う非持分法適用会社化(出資比率:従来25.9%→今回19.6%)による影響▲10億円、浙江晶馳光電科技(晶馳光電、出資比率49%)の開発負担増の影響▲5.5億円で同61%減の32億円。親会社株主に帰属する当期純利益は特別利益として繁楓の株式売却益10億円を計上し、同53%減の30億円。売上高総利益率(粗利益率)は収益性の良いALD装置の減収で前年比▲11.0%の33.8%と低下したが、一時的な影響を除外すると37.6%と概ね計画線。4Qは30.4%と3Qの38.5%から低下したが、一時費用を考慮すると43.2%と試算される。

□ 26/12期連結業績のガイダンス

26/12期連結業績は為替148円/ドル、25/12期受注高の売上計上や一時費用の一巡を前提として、前年比13%増の382億円、営業利益が同86%増の62億円、経常利益が同131%増の74億円、親会社株主に帰属する当期純利益が同89%増の56億円の計画。装置のリードタイムは新型装置比率の上昇もあり、受注から検収までの期間が9カ月を必要です。この結果、事業領域別売上高構成比は25/12期の受注高構成比に近づくと見えています。粗利益率は25/12期の一時的な影響を除外する37.6%を上回ることを想定しています。営業外収支は持分法損益が25/12期の▲1.3億円から26/12期には成膜製品事業の軌道化による持分法適用会社の黒字転換や業務提携企業の業績拡大が貢献すると予想されるため、前年比約13億円の改善を予想。

□ 新中期経営目標を策定、光学薄膜成膜装置企業から製品事業の軌道化で光学薄膜成膜企業、更に光学融合企業に進化へ

当社は1999年8月に光学薄膜成膜装置企業として創業し、四半期を経過している。2026年からは第2次創業として、成膜製品事業の軌道化で光学薄膜成膜企業に業容を拡大し、更にシリコンフォトニクス事業の立ち上げで光学融合企業に進化させる計画。当社は通信関連のDWDM(高密度波長分割多重)用光部品向けの蒸着装置を祖業として、スマホ、自動車や光通信関連の蒸着装置やスパッタ装置など光学薄膜成膜装置事業を拡大させて来た。装置技術の応用分野として、水晶光電と共同で晶馳光電を主軸にスマホ関連の製品事業を軌道化させる計画。晶馳光電は今後3年間の設備投資216億円を計画し、26/12期売上高150億円を目指し、当期純利益を黒字転換させる予定。当社及び晶馳光電の合計となるグループ売上高は26/12期532億円を想定。

受注高、業績と株価バリュエーション



図表1: 受注高、業績及び1株当たり指標、株価バリュエーション

決算期	受注高		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主当期純利益		EPS	DPS	PER	PBR	株価	営業利益率	ROE
	百万円	前年比%	百万円	前年比%	百万円	前年比%	百万円	前年比%	百万円	前年比%	円	円	倍	倍	期末、円	%	%
年間																	
2017/12	52,527	252.5	33,386	124.0	7,327	207.9	7,095	249.5	4,815	228.3	134.6	40.00	21.3	5.18	2,860	21.9	29.0
2018/12	39,820	-24.2	44,763	34.1	10,690	45.9	10,993	54.9	7,746	60.9	187.6	55.00	9.0	2.48	1,680	23.9	30.6
2019/12	36,062	-9.4	42,822	-4.3	10,879	1.8	11,031	0.3	9,102	17.5	216.7	60.00	13.9	3.67	3,015	25.4	29.0
2020/12	28,606	-20.7	37,491	-12.4	8,628	-20.7	8,610	-21.9	6,797	-25.3	159.1	50.00	13.3	2.29	2,109	23.0	18.3
2021/12	35,435	23.9	30,892	-17.6	7,025	-18.6	7,901	-8.2	6,330	-6.9	146.8	50.00	16.2	2.23	2,376	22.7	14.8
2022/12	41,553	17.3	34,304	11.0	7,449	6.0	8,763	10.9	6,890	8.8	159.0	50.00	14.1	1.87	2,242	21.7	14.0
2023/12	20,316	-51.1	36,807	7.3	9,752	30.9	6,051	-30.9	4,632	-32.8	106.1	50.00	15.4	1.27	1,631	26.5	8.5
2024/12	28,841	42.0	32,406	-12.0	6,570	-32.6	8,191	35.4	6,351	37.1	145.3	52.00	13.0	1.35	1,888	20.3	11.0
2025/12	41,210	42.9	33,861	4.5	3,335	-49.2	3,203	-60.9	2,960	-53.4	74.2	54.00	25.7	1.33	1,910	9.8	5.1
2025/12 前予	37,500	30.0	33,000	1.8	3,800	-42.2	4,000	-51.2	3,250	-48.8	81.5	54.00	23.4	-	1,910	11.5	-
2026/12 今予	-	-	38,200	12.8	6,200	85.9	7,400	131.1	5,600	89.2	140.5	56.00	15.6	1.33	2,196	16.2	-
半期																	
年換算																	
2023/06	12,413	-46.6	20,925	54.9	6,662	102.3	4,264	-4.6	3,471	18.9	79.7	0.00	15.2	1.91	2,423	31.8	13.1
2023/12	7,904	-56.8	15,882	-23.6	3,089	-25.7	1,788	-58.4	1,161	-70.8	26.6	50.00	30.7	1.27	1,631	19.5	4.3
2024/06	14,920	20.2	16,678	-20.3	3,942	-40.8	4,417	3.6	3,173	-8.6	72.4	26.00	13.9	1.45	2,020	23.6	10.9
2024/12	13,922	76.1	15,728	-1.0	2,628	-14.9	3,774	111.1	3,178	173.7	72.7	26.00	13.0	1.35	1,888	16.7	11.1
2025/06	17,493	17.2	13,850	-17.0	1,108	-71.9	1,112	-74.8	1,106	-65.2	27.0	27.00	30.2	1.24	1,633	8.0	3.9
2025/12	23,717	70.4	20,011	27.2	2,227	-15.3	2,090	-44.6	1,854	-41.7	47.2	27.00	20.2	1.33	1,910	11.1	6.7
四半期																	
年換算																	
2024/03	9,552	10.9	11,298	24.7	3,965	51.7	4,325	138.3	3,284	134.1	75.0	0.00	6.9	1.54	2,068	35.1	23.7
2024/06	5,368	41.2	5,380	-54.6	-23	-	92	-96.2	-110	-	-2.5	26.00	-	1.45	2,020	-0.4	-0.8
2024/09	6,232	103.0	8,511	6.3	2,377	24.8	2,549	137.9	2,267	261.1	51.5	0.00	8.6	1.32	1,778	27.9	15.6
2024/12	7,690	59.1	7,217	-8.3	251	-78.8	1,225	71.0	911	70.9	21.2	26.00	22.3	1.35	1,888	3.5	6.3
2025/03	8,645	-9.5	7,905	-30.0	756	-80.9	740	-82.9	809	-75.4	19.3	0.00	19.7	1.13	1,526	9.6	5.6
2025/06	8,848	64.8	5,945	10.5	352	-	372	303.4	296	-	7.7	27.00	53.0	1.24	1,633	5.9	2.1
2025/09	10,453	67.7	9,860	15.8	1,727	-27.3	1,475	-42.1	959	-57.7	24.1	0.00	17.3	1.24	1,664	17.5	6.8
2025/12	13,264	72.5	10,151	40.7	499	98.7	615	-49.8	895	-1.7	22.4	27.00	21.3	1.33	1,910	4.9	6.2

注: 会計は日本基準、数値は百万円以下を四捨五入、前予は前回計画、今予は今回計画、受注高は22/12期以降が実質基準、21/12期以前は為替影響を除く基準、26/12期欄の株価は2月12日終値、25/12期為替(期中平均)は149.61円/ドル、20.81円/人民元、26/12期前提は148円/ドル、22円/人民元、営業利益感応度(年換算)は1円/ドルの円高で▲1.5億円、0.1円/人民元の円高で+1億円

受注高および業績とガイダンス



図表2: 受注高、業績及び1株当たり指標・財務指標(単位:百万円、円、%、円/ドル)

項目	決算期	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12	2026/12	2024/12				2025/12				
												予	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注高		52,527	39,821	36,062	28,606	35,435	43,124	24,080	32,345	40,989			11,136	7,301	4,192	9,716	7,700	8,106	10,956	14,226
受注高(実質)							41,553	20,316	28,841	41,210			9,552	5,368	6,232	7,690	8,645	8,848	10,453	13,264
受注残高		44,170	39,228	32,468	23,583	28,126	36,947	24,219	24,159	31,286			24,058	25,979	21,659	24,159	23,954	26,114	27,211	31,286
売上高		33,386	44,763	42,822	37,491	30,892	34,304	36,807	32,406	33,861	38,200		11,298	5,380	8,511	7,217	7,905	5,945	9,860	10,151
売上総利益		14,154	17,436	17,697	14,682	13,390	14,948	18,454	14,499	11,440			5,917	2,168	4,094	2,319	2,613	1,947	3,793	3,088
販売管理費		6,827	6,746	6,818	6,054	6,364	7,499	8,702	7,928	8,106			1,952	2,191	1,717	2,068	1,857	1,595	2,066	2,588
研究開発費		2,467	3,103	3,173	3,151	3,065	3,410	4,329	3,397	3,802	3,900		908	1,029	657	803	921	863	947	1,071
営業利益		7,327	10,690	10,879	8,628	7,025	7,449	9,752	6,570	3,335	6,200		3,965	-23	2,377	251	756	352	1,727	499
営業外収益		140	495	299	261	980	1,339	386	1,996	584			462	331	633	1,491	366	178	-16	56
営業外費用		372	192	147	280	104	25	4,086	376	716			102	216	462	518	381	158	236	-59
経常利益		7,095	10,993	11,031	8,610	7,901	8,763	6,051	8,191	3,203	7,400		4,325	92	2,549	1,225	740	372	1,475	615
税前利益		7,127	10,748	11,488	8,678	8,773	9,405	5,998	8,185	4,221			4,321	92	2,547	1,225	739	368	1,474	1,640
法人税等		2,309	3,001	2,386	1,874	2,440	2,512	1,325	1,807	1,375			1,030	165	251	361	-33	108	526	774
親会社株主当期純利益		4,815	7,746	9,102	6,797	6,330	6,890	4,632	6,351	2,960	5,600		3,284	-110	2,267	911	809	296	959	895
1株当たり当期純利益		134.6	187.6	216.7	159.1	146.8	159.0	106.1	145.3	73.3	140.5		75.0	-2.6	51.5	21.5	19.3	7.7	24.1	22.2
1株当たり配当金		40.0	55.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0	52.0	54.0	56.0		0.0	26.0	0.0	26.0	0.0	27.0	0.0	27.0
1株当たり純資産		552.4	677.2	821.1	919.0	1,066.0	1,199.1	1,285.3	1,403.3	1,439.5			1,343.9	1,388.5	1,347.0	1,403.3	1,345.6	1,318.8	1,345.2	1,439.5
円/ドル(期末)		113.16	111.00	109.56	103.50	115.02	132.70	141.83	158.18	156.56	148.00		151.41	161.07	142.73	158.18	149.52	144.81	148.88	156.56
円/ドル(期中平均)		112.61	110.58	109.03	106.76	109.90	131.62	137.97	148.12	149.61	148.00		144.77	147.31	149.45	151.87	152.55	148.40	147.46	154.08
売上高総利益率		42.4	39.0	41.3	39.2	43.3	43.6	50.1	44.7	33.8			52.4	40.3	48.1	32.1	33.1	32.7	38.5	30.4
売上高販売管理費率		20.4	15.1	15.9	16.1	20.6	21.9	23.6	24.5	23.9			17.3	40.7	20.2	28.7	23.5	26.8	21.0	25.5
売上高研究開発費率		7.4	6.9	7.4	8.4	9.9	9.9	11.8	10.5	11.2	10.2		8.0	19.1	7.7	11.1	11.6	14.5	9.6	10.6
売上高営業利益率		21.9	23.9	25.4	23.0	22.7	21.7	26.5	20.3	9.8	16.2		35.1	-0.4	27.9	3.5	9.6	5.9	17.5	4.9
売上高経常利益率		21.3	24.6	25.8	23.0	25.6	25.5	16.4	25.3	9.5	19.4		38.3	1.7	29.9	17.0	9.4	6.3	15.0	6.1
法人税率		32.4	27.9	20.8	21.6	27.8	26.7	22.1	22.1	32.6			23.8	179.3	9.9	29.5	-4.4	29.4	35.7	47.2
売上高当期純利益率		14.4	17.3	21.3	18.1	20.5	20.1	12.6	19.6	8.7	14.7		29.1	-2.1	26.6	12.6	10.2	5.0	9.7	8.8
棚卸資産回転日数		476.5	327.1	220.4	178.4	268.1	385.2	357.7	321.3	279.9			275.0	530.5	347.1	293.7	253.2	351.7	229.4	222.1
ROE(自己資本利益率)		29.0	30.6	29.0	18.3	14.8	14.0	8.5	11.0	5.1			23.7	-0.8	15.6	6.3	5.6	2.1	6.8	6.2
DOE(株主資本配当率)		1.5	5.8	6.5	6.4	4.7	4.1	3.9	5.7	3.8										

注: 会計は日本基準、数値は百万円以下を四捨五入で算出、1株当たり当期純利益は親会社株主に帰属する数値、利益率の前年比%欄は前年比増減、DOEは年間配当総額÷自己資本×100 又は配当性向×ROE、ROEは親会社株主に帰属する当期純利益÷平均自己資本×100、棚卸資産回転日数は売上原価基準、法人税率(実効税率)は研究開発費の補助金影響で変動する傾向がある

貸借対照表およびキャッシュ・フロー計算書



図表3: 貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)

項目	決算期	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12	2024/12				12/2025			
											1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
資産の部																		
現金及び預金		19,894	15,741	26,970	22,723	32,274	34,923	33,054	32,531	31,442	33,329	32,193	30,967	32,531	29,571	27,784	30,211	31,442
受取手形・売掛金		3,199	6,417	3,902	9,426	5,627	7,423	4,882	4,355	5,283	3,206	4,353	4,518	4,355	3,540	4,116	4,518	5,283
貸倒引当金		-181	-420	-351	-344	-387	-550	-604	-595	-220	-504	-541	-489	-595	-569	-235	-234	-220
棚卸資産		25,108	24,487	15,173	11,147	12,855	20,430	17,989	15,763	17,194	16,213	18,670	16,804	15,763	14,687	15,413	15,250	17,194
原材料及び貯蔵品		4,879	4,339	4,070	3,850	5,804	10,460	8,790	6,449	4,651	9,365	8,363	7,212	6,449	8,437	4,311	4,115	4,651
仕掛品		20,229	20,148	11,103	7,297	7,051	9,970	9,199	9,314	12,543	6,848	10,306	9,591	9,314	6,249	11,102	11,136	12,543
流動資産		52,256	48,142	47,194	44,572	53,145	65,401	57,632	54,572	56,776	55,184	57,372	54,410	54,572	49,143	48,826	51,499	56,776
有形固定資産		2,863	2,843	2,764	3,194	4,527	8,835	11,407	14,152	13,512	11,874	13,450	13,300	14,152	13,273	13,127	13,019	13,512
無形固定資産		81	66	66	822	677	541	424	210	34	381	339	259	210	148	94	39	34
投資その他の資産		1,226	4,593	6,486	5,740	6,326	8,139	9,029	12,505	15,824	9,521	10,322	9,321	12,505	15,113	15,034	15,216	15,824
資産合計		56,426	55,644	56,509	54,327	64,675	82,916	78,491	81,440	86,146	76,959	81,482	77,289	81,440	77,677	77,081	79,773	86,146
負債の部																		
支払手形・買掛金		7,303	1,653	2,735	1,703	3,246	4,785	1,284	1,083	4,239	2,326	1,848	1,657	1,083	1,793	2,238	2,343	4,239
短期有利子負債		9,193	757	510	489	472	414	406	414	410	403	402	402	414	414	413	412	410
契約負債		11,327	20,109	13,989	8,922	9,831	19,060	14,743	9,731	11,494	9,441	10,841	9,308	9,731	9,288	11,981	12,859	11,494
流動負債		32,038	25,923	19,826	13,655	17,057	28,400	19,097	14,766	19,882	14,812	16,895	14,630	14,766	13,753	16,948	18,158	19,882
繰延税金負債		978	1,251	1,079	642	1,181	1,929	2,021	2,625	3,266	2,174	2,385	2,239	2,625	2,450	2,544	2,769	3,266
長期有利子負債		433	234	165	81	16	5	8	4,649	4,995	8	6	5	4,649	4,463	4,414	4,616	4,995
固定負債		1,781	1,659	1,864	1,157	1,535	2,357	2,478	7,672	8,658	2,637	2,777	2,637	7,672	7,338	7,392	7,804	8,658
純資産		22,607	28,063	34,819	39,515	46,084	52,159	56,916	59,002	57,607	59,510	61,810	60,022	59,002	56,586	52,741	53,811	57,607
自己資本		22,597	28,052	34,819	39,488	46,070	52,141	56,316	58,689	57,381	58,881	61,114	59,339	58,689	56,363	52,571	53,624	57,381
連結キャッシュフロー																		
税前利益		7,127	10,748	11,488	8,678	8,773	9,405	5,998	8,185	4,221	-	4,413	-	3,772	-	1,107	-	3,114
減価償却費		258	252	250	282	484	698	991	1,221	1,201	-	475	-	746	-	628	-	574
営業活動によるキャッシュフロー		4,696	9,572	16,233	-535	10,686	8,561	3,180	5,050	8,529	-	1,353	-	3,697	-	5,336	-	3,193
有形固定資産取得		-1,821	-381	-150	-760	-940	-4,380	-3,116	-3,115	-989	-	-1,505	-	-1,610	-	-361	-	-629
投資活動によるキャッシュフロー		-2,768	-2,964	-2,432	-1,048	376	-4,396	-3,599	-7,701	257	-	-1,618	-	-6,083	-	-2,288	-	2,544
フリーキャッシュフロー		1,928	6,608	13,801	-1,583	11,061	4,165	-419	-2,651	8,786	-	-265	-	-2,386	-	3,048	-	5,738
自己株式取得		0.0	0.0	-0.1	-0.2	-0.2	-0.1	-0.1	-4,794	-4,188	-	0	-	-4,794	-	-4,188	-	-0.2
配当金支払額		-333	-1,633	-2,279	-2,543	-2,145	-2,164	-2,174	-3,334	-2,163	-	-2,190	-	-1,144	-	-1,086	-	-1,077
財務活動によるキャッシュフロー		12,447	-10,054	-2,359	-2,467	-2,735	-2,173	-2,207	-3,807	-5,384	-	-2,168	-	-1,638	-	-5,174	-	-210

注: 数値は百万円以下を四捨五入で算出、受取手形・売掛金は貸倒引当金を控除、有利子負債は借入金とリース債務の合計、契約負債は従来前受金で表記、契約負債とは企業が顧客から前払いで受け取った金額や、サービスの提供前に受け取った対価を指す、自己株式取得は24/12期48億円(1株平均取得価格1,890円)、25/12期42億円(同1,658円)

事業領域別受注高および売上高の詳細



図表4: 事業領域別受注高及び売上高(単位:百万円、円/ドル、%)

項目	決算期	2023/12	2024/12	2025/12	YoY%	2023/12				2024/12				2025/12				Q/Q%	YoY%
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
受注高																			
光学領域		15,973	22,753	33,624	47.8	7,386	2,214	2,415	3,958	7,952	3,783	5,056	5,962	7,094	7,626	7,909	10,995	39.0	84.4
AIスマートフォン		8,305	8,558	14,126	65.1	5,053	550	845	1,857	5,487	944	1,896	231	1,906	4,164	3,582	4,474	24.9	1,839.9
EV/コネクテッドカー		3,274	5,939	7,514	26.5	846	421	544	1,463	1,299	1,452	1,022	2,166	3,337	685	1,410	2,082	47.7	-3.9
光学部品		4,393	8,256	11,985	45.2	1,486	1,243	1,026	638	1,165	1,386	2,139	3,566	1,851	2,778	2,917	4,439	52.2	24.5
半導体光学融合・電子デバイス		1,826	2,785	4,758	70.8	455	948	52	371	615	141	950	1,079	838	366	1,835	1,718	-6.3	59.3
パーツサービス・他		2,518	3,304	2,828	-14.4	770	641	602	505	985	1,444	225	649	713	855	710	550	-22.5	-15.2
受注高小計		20,316	28,841	41,210	42.9	8,610	3,802	3,069	4,835	9,552	5,368	6,232	7,690	8,645	8,848	10,453	13,264	26.9	72.5
為替・キャンセル影響		3,764	3,504	-221	-	953	2,283	1,229	-701	1,584	1,933	-2,040	2,026	-945	-742	503	963	91.3	-52.5
受注高合計		24,080	32,345	40,989	26.7	9,563	6,085	4,298	4,134	11,136	7,301	4,192	9,716	7,700	8,106	10,956	14,226	29.8	46.4
ALD装置比率 (%)		7%	10%	2%	-7%	6%	0%	7%	16%	24%	4%	0%	3%	0%	5%	2%	2%	-3%	-1%
新型装置比率 (%)		23%	39%	42%	3%	11%	29%	22%	39%	40%	28%	31%	51%	49%	46%	30%	43%	-16%	-7%
受注残高		24,219	24,159	31,286	29.5	37,447	31,670	27,960	24,219	24,058	25,979	21,659	24,159	23,954	26,114	27,211	31,286	4.2	29.5
売上高																			
光学領域		31,116	28,523	26,271	-7.9	7,148	10,694	6,056	7,218	10,243	4,272	7,781	6,227	5,455	4,741	8,487	7,588	-10.6	21.8
AIスマートフォン		20,489	18,549	10,226	-44.9	3,690	8,317	3,996	4,486	7,686	1,916	5,289	3,658	1,427	1,445	4,544	2,810	-38.2	-23.2
EV/コネクテッドカー		3,069	4,917	6,740	37.1	1,392	391	431	854	1,174	1,582	1,273	889	1,793	1,263	1,908	1,776	-7.0	99.8
光学部品		7,558	5,056	9,306	84.0	2,066	1,986	1,629	1,877	1,383	774	1,219	1,681	2,235	2,033	2,035	3,002	47.5	78.7
半導体光学融合・電子デバイス		3,300	1,261	3,829	203.6	1,260	536	1,354	151	233	554	63	411	811	708	618	1,692	173.6	311.7
パーツサービス・他		2,391	2,622	3,761	43.5	655	632	599	505	822	554	667	578	1,639	496	754	871	15.4	50.6
売上高合計		36,807	32,406	33,861	4.5	9,063	11,862	8,009	7,874	11,298	5,380	8,511	7,217	7,905	5,945	9,860	10,151	3.0	40.7
ALD装置比率 (%)		34%	29%	3%	-26%	22%	47%	42%	20%	30%	19%	26%	36%	0%	3%	5%	2%	-4%	-34%
新型装置比率 (%)		44%	42%	43%	1%	37%	53%	52%	32%	36%	32%	41%	59%	28%	37%	53%	48%	-5%	-11%
売上総利益		18,454	14,499	11,440	-21.1	4,578	5,954	4,317	3,605	5,917	2,168	4,094	2,319	2,613	1,947	3,793	3,088	-18.6	33.2
売上高総利益率 (%)		50.1%	44.7%	33.8%	-11.0%	50.5%	50.2%	53.9%	45.8%	52.4%	40.3%	48.1%	32.1%	33.1%	32.7%	38.5%	30.4%	-8.0%	-1.7%
営業利益		9,752	6,570	3,335	-49.2	2,614	4,049	1,905	1,184	3,965	-23	2,377	251	756	352	1,727	499	-71.1	98.7
売上高営業利益率 (%)		26.5%	20.3%	9.8%	-10.4%	28.8%	34.1%	23.8%	15.0%	35.1%	-0.4%	27.9%	3.5%	9.6%	5.9%	17.5%	4.9%	-12.6%	1.4%
円/ドル(期末換算)		141.83	158.18	156.56	1.62	133.53	144.99	149.58	141.83	151.41	161.07	142.73	158.18	149.52	144.81	148.88	156.56	-7.68	1.62
円/ドル(期中平均)		137.97	148.12	149.61	-1.49	134.75	134.24	140.93	141.95	144.77	147.31	149.45	151.87	152.55	148.40	147.46	154.08	-6.62	-2.21

注: 受注高の構成比、ALD比率、新型比率は為替影響を除くベース、為替、利益率、比率の前四半期比及び前年比の欄は増減、AIスマートフォンは主にスマホ関連、EV/コネクテッドカーは自動車関連、光学部品は光通信、半導体光学融合・電子デバイスはAR関連向けの貢献度が高い、蒸着装置、スパッタ装置の合計構成比は25/12期の受注高が93%、売上高が87%を占める

主要領域の業界環境と弊社の受注高概況



□ スマートフォン市場は廉価版がメモリ価格上昇で2割減産、高付加価値版は新機能で差異化

世界のスマートフォン(スマホ)販売台数は25年が前年比3.0%増の12億2,700万台と増加したが、26年が同8.7%減の11億2,000万台に減少すると予想。DRAMやNANDなど半導体メモリ価格の急上昇で、スマホ企業は廉価版を2割程度減産する企業が多いと見られる。一方、高付加価値版はフォルダブル化や、AIカメラなどAI新機能の強化で差異化を進めると判断される。当社のスマホ関連事業の受注高は25/12期が前年比65%増の141億円と回復し、26/12期も前年と同程度を計画。スマホ市場は販売台数が成熟化する一方、AI機能の発達により高付加価値化の要求が強まっている。当社は浙江水晶光電科技(水晶光電)と共同で出資する浙江晶馳光電科技(晶馳光電)において、光学薄膜成膜製造装置を活用した成膜製品事業を開始している。

□ 自動運転技術の進化やセンサー搭載率の上昇で自動車関連は底堅い需要が継続

世界最大の自動車販売台数市場である中国において、新エネルギー車が脱炭素社会の実現に向けて台数構成比が上昇しています。内巻といわれる価格競争が激化していますが、解決策としてADASセンサーなど高性能センサーの標準搭載による高付加価値化が進展しています。ADASセンサーはCMOSセンサーが自動車1台に複数個搭載するのに対して、LiDARは1-2個/台のため、普及率の指標になると見られます。自動運転技術は現在、L2~L2+が一般的ですが、L3対応の量産機種が25年12月に認可されたことで、26年から徐々に普及が進むと判断されます。当社の自動車関連事業の受注高は25/12期が前年比27%増の75億円でしたが、26/12期も自動運転技術の進化やセンサー搭載率の上昇により、前年と同水準を想定しています。

□ ハイパースケーラーの設備投資拡大で光通信事業の受注高が増加

米国のハイパースケーラー(大手クラウド・サービス・プロバイダーなど)の設備投資合計は25年が前年比2.3倍の3,762億ドルと急増し、26年も同56%増の5,871億ドルと拡大すると予想されている。当社の光通信事業受注高は25/12期が同3.6倍の36億円、26/12期が同4割増の50億円を計画。光通信事業は蒸着装置、スパッタ装置などが主力であり、主要顧客は光デバイスメーカーやフォトンクス企業向けが多い。用途はAIデータセンター用CWDM向け光デバイス製造において使用されているが、最近ではDWDM向けの引き合いが増加している。光デバイス製造において、CWDMとDWDMの技術的差異は波長幅が微細なことから、DWDMが圧倒的に難しい点にある。

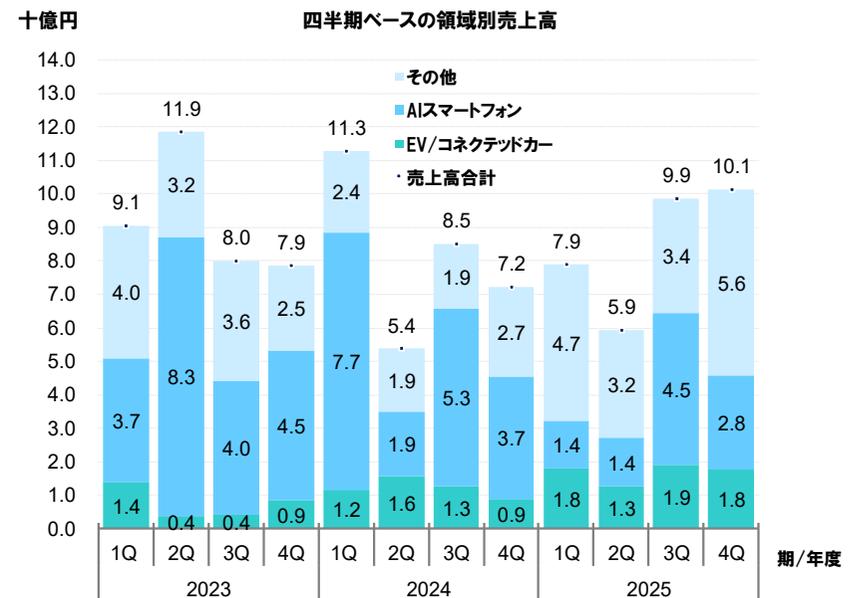
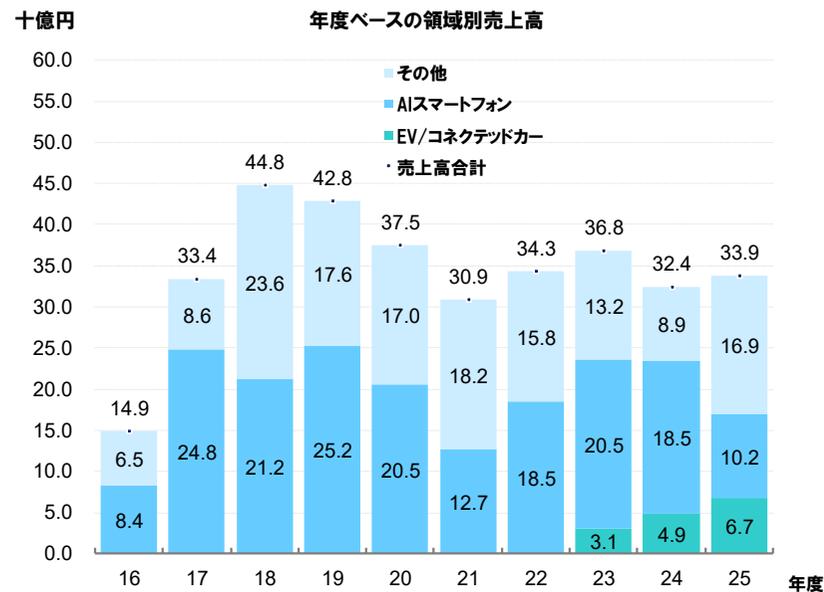
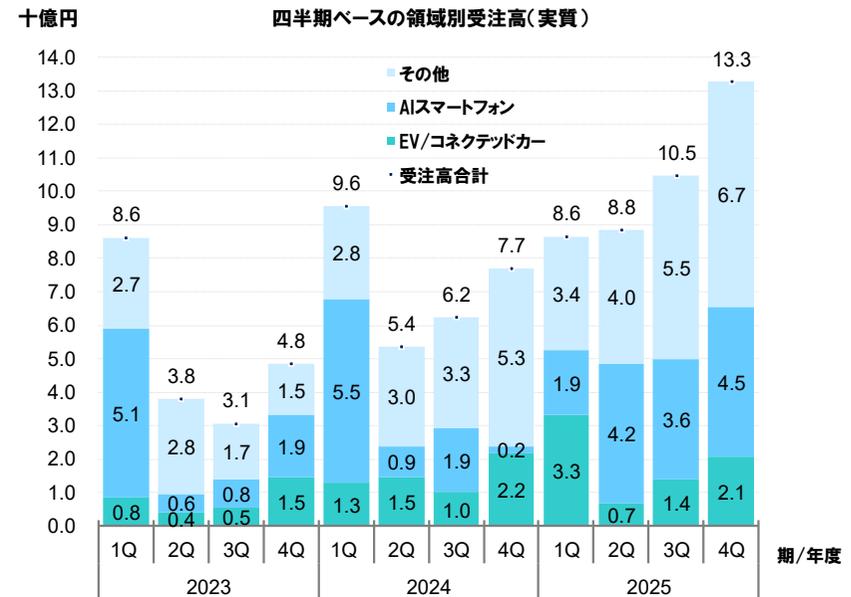
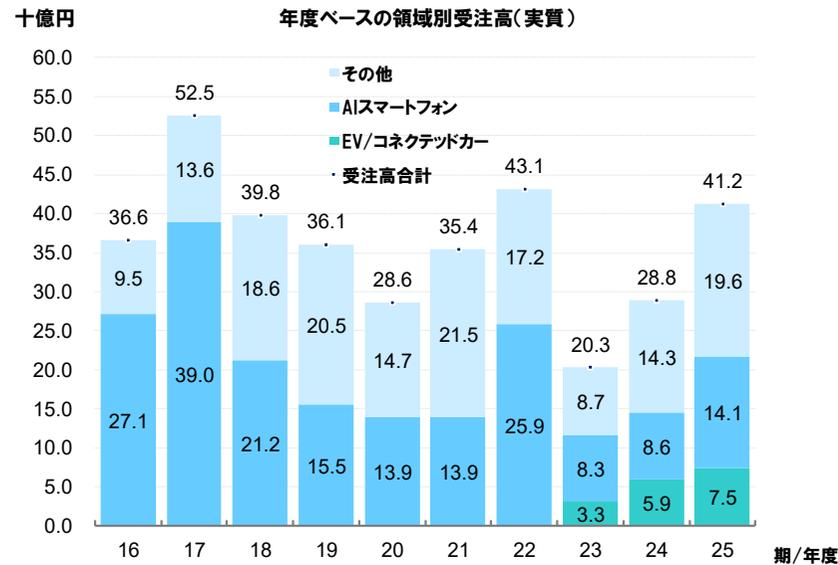
□ AR(拡張現実)関連、出資企業のMicro-OLEDメーカーは上海証券取引所・科创板への上場が承認

当社はARスマートグラス市場の開拓を前提としてMicro-OLEDの専門メーカーであるSeeYA Technology(SeeYa、視涯科技)に出資しています。同社は2025年6月26日に上海証券取引所の科学技術革新委員会(科创板、STAR Market)に上場申請書を提出し、上海証券取引所では上場申請を同6月28日に受理し、同12月24日に上場承認をした。今後のスケジュールは、26年3~4月内に科创板に上場する可能性があります。当社はSeeYAに3.89%出資し、関係会社株式として20.2億円(25/12期末)を貸借対照表に計上。SeeYAはARスマートグラス最大手などにMicro-OLEDを提供している。このほか、安徽繁楓新能源科技(25/12期末の出資比率19.6%)は上場申請を検討している。

受注高は25/12期が過去3番目の高水準、スマホ、自動車、光通信の3分野が牽引



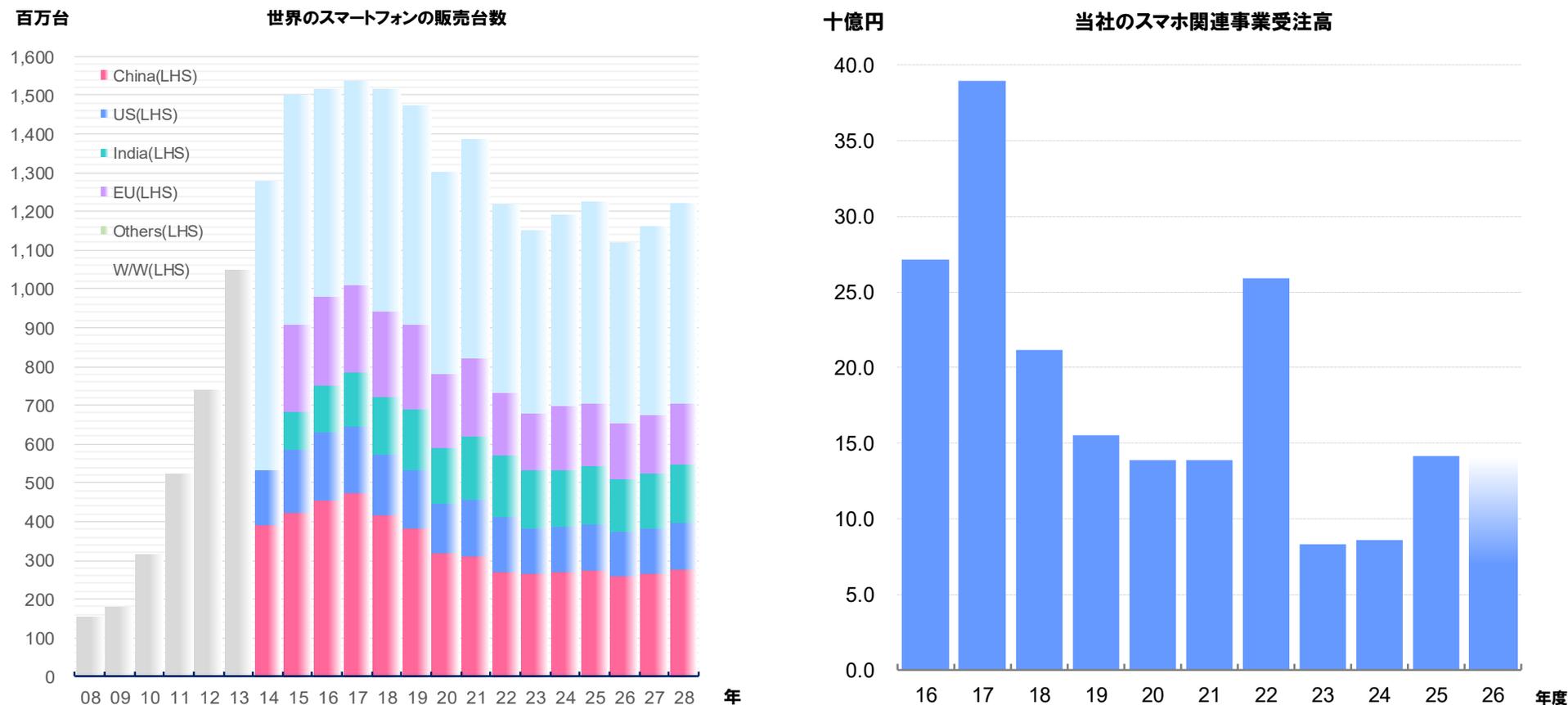
図表5: 事業領域別受注高と売上高



スマホ市場は廉価版がメモリ価格上昇で2割減産、高付加価値版は新機能で差異化



図表6: 世界のスマートフォン(スマホ)販売台数と当社のスマホ関連事業受注高



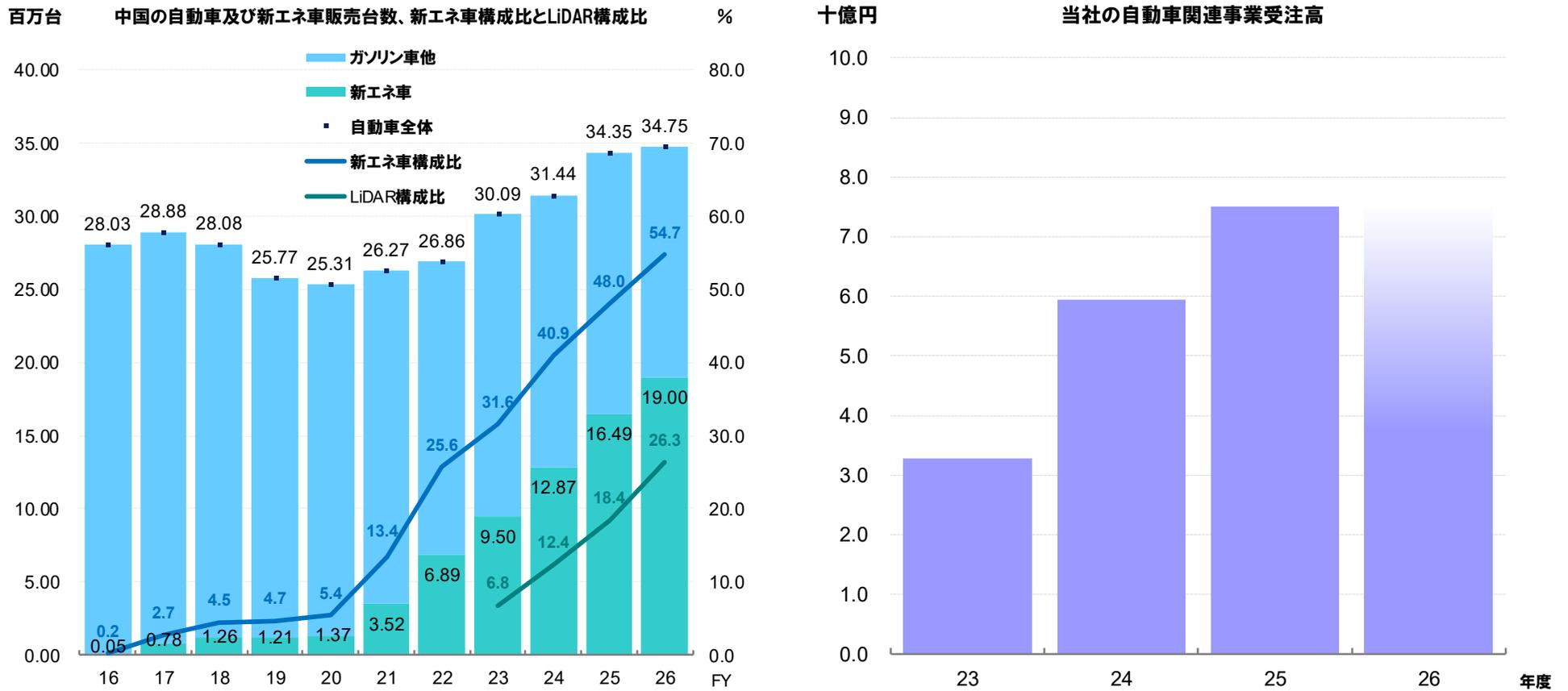
世界のスマートフォン(スマホ)販売台数は25年が前年比3.0%増の12億2,700万台(従来予想12億3,200万台)だったが、26年が同8.7%減の11億2,000万台に減少すると予想。DRAMやNAND価格の急上昇でBOM(Bill of Materials)コストが増加していることから、スマホ企業は廉価版を2割程度減産する企業が多いと見られる。一方、高付加価値版はフォルダブル化や、AIカメラなどAI新機能の強化で差異化を進めると判断される。当社のスマホ関連事業の受注高は25/12期が前年65%増の141億円と回復し、26/12期も前年と同程度を計画。

スマホ産業は販売台数が成熟化する一方、AI機能の発達により高付加価値化の要求が強まっている。当社は浙江水晶光電科技(水晶光電)と共同で出資する浙江晶馳光電科技(晶馳光電)において、光学薄膜成膜製造装置を活用した製品事業を開始している。晶馳光電の出資比率は水晶光電が51%、当社が49%。晶馳光電は25/12期が先行開発投資が響き、当期純利益が赤字であったが、26/12期は売上高150億円、当期純利益が黒字転換と軌道化する計画。

自動運転技術の進化やセンサー搭載率の上昇で自動車関連は底堅い需要が継続



図表7: 中国市場の自動車及び新エネルギー販売台数、新エネ車構成比とLiDAR構成比、当社の自動車関連受注高

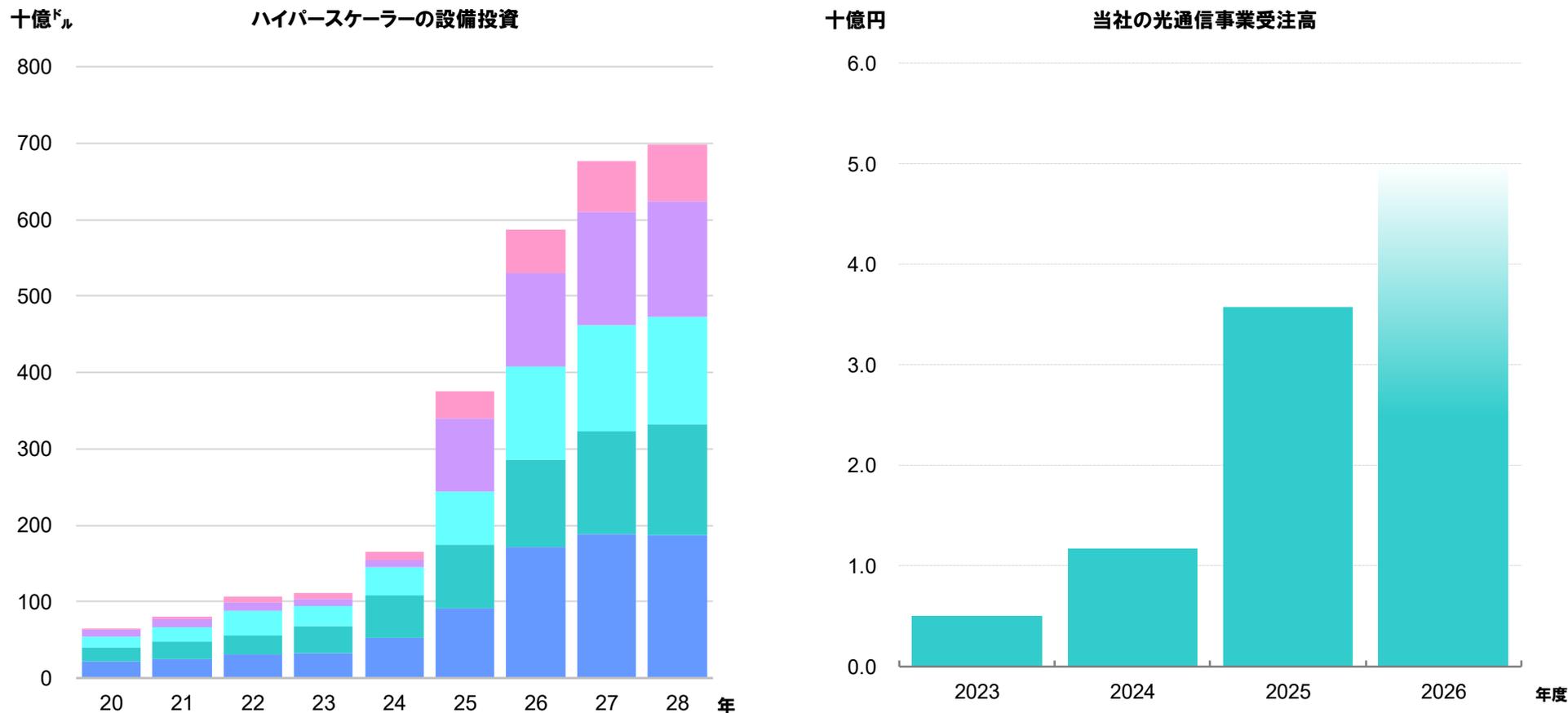


世界最大の自動車販売台数市場である中国において、新エネルギー車は脱炭素社会の実現に向けて台数構成比が上昇しています。確かに、内巻といわれる価格競争が激化していますが、解決策としてADASセンサーなど高性能センサーの標準搭載による高付加価値化が進展しています。ADASセンサーはCMOSセンサーが自動車1台に複数個搭載するのに対して、LiDARは1-2個/台のため、普及率の指標になると見られます。自動運転技術は現在、L2~L2+が一般的ですが、L3対応の量産機種が25年12月に認可されたことで、26年から徐々に普及が進むと判断されます。

当社の自動車関連事業の受注高は25/12期が前年比27%増の75億円でしたが、26/12期も自動運転技術の進化やセンサー搭載率の上昇により、前年と同水準を想定しています。自動車関連の25/12期受注高の内訳を見ると、車載カメラが76%、HUD(ヘッドアップディスプレイ)が15%、車載ディスプレイが9%を占有。自動車用センサーメーカーはロボタクシーやヒューマノイド・ロボットの実用化に向けて開発を進めている。

ハイパースケーラーの設備投資拡大で光通信事業の受注高が増加

図表8: 米国のハイパースケーラーの設備投資と当社の光通信事業受注高

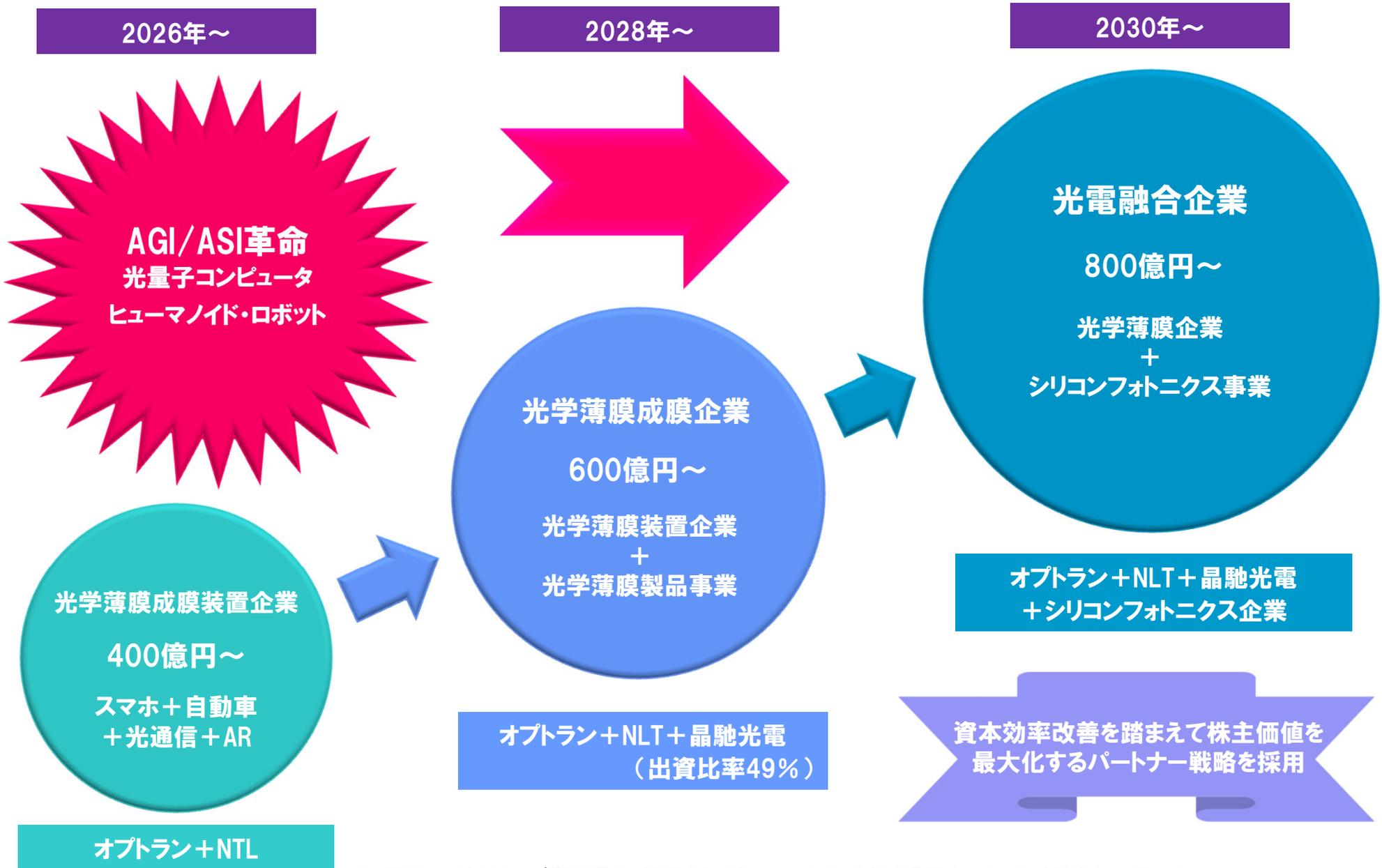


米国のハイパースケーラーの設備投資合計は25年が前年比2.3倍の3,762億ドルと急増し、26年も同56%増の5,871億ドルと拡大すると予想されている。当社の光通信事業受注高は25/12期が同3.6倍の36億円、26/12期が同4割増の50億円程度を計画。光通信事業は蒸着装置、スパッタ装置などが主力で、主要顧客は光デバイスメーカーやフォトニクス企業向けが多い。用途はAIデータセンター用CWDM向け光デバイス製造において使用されているが、最近ではDWDM向けの引き合いが増加している。光デバイス製造において、CWDMとDWDMの技術的差異は波長幅が微細なことから、DWDMが圧倒的に難しい点にある。

光インターコネクト需要はNPO(Near-Packaged Optics)、CPO(Co-Packaged Optics)、光I/O(Optical I/O)と進化する。当社は光デバイスメーカーやフォトニクス企業向けに光学薄膜成膜製造装置を提供しているが、お客様のニーズに対応して光学薄膜成膜製造装置を活用する製品分野を軌道化させる一方、シリコンフォトニクス事業を早急に立ち上げ、光電融合企業にシフトする計画。

第2次創業が始動、新中期経営目標を策定

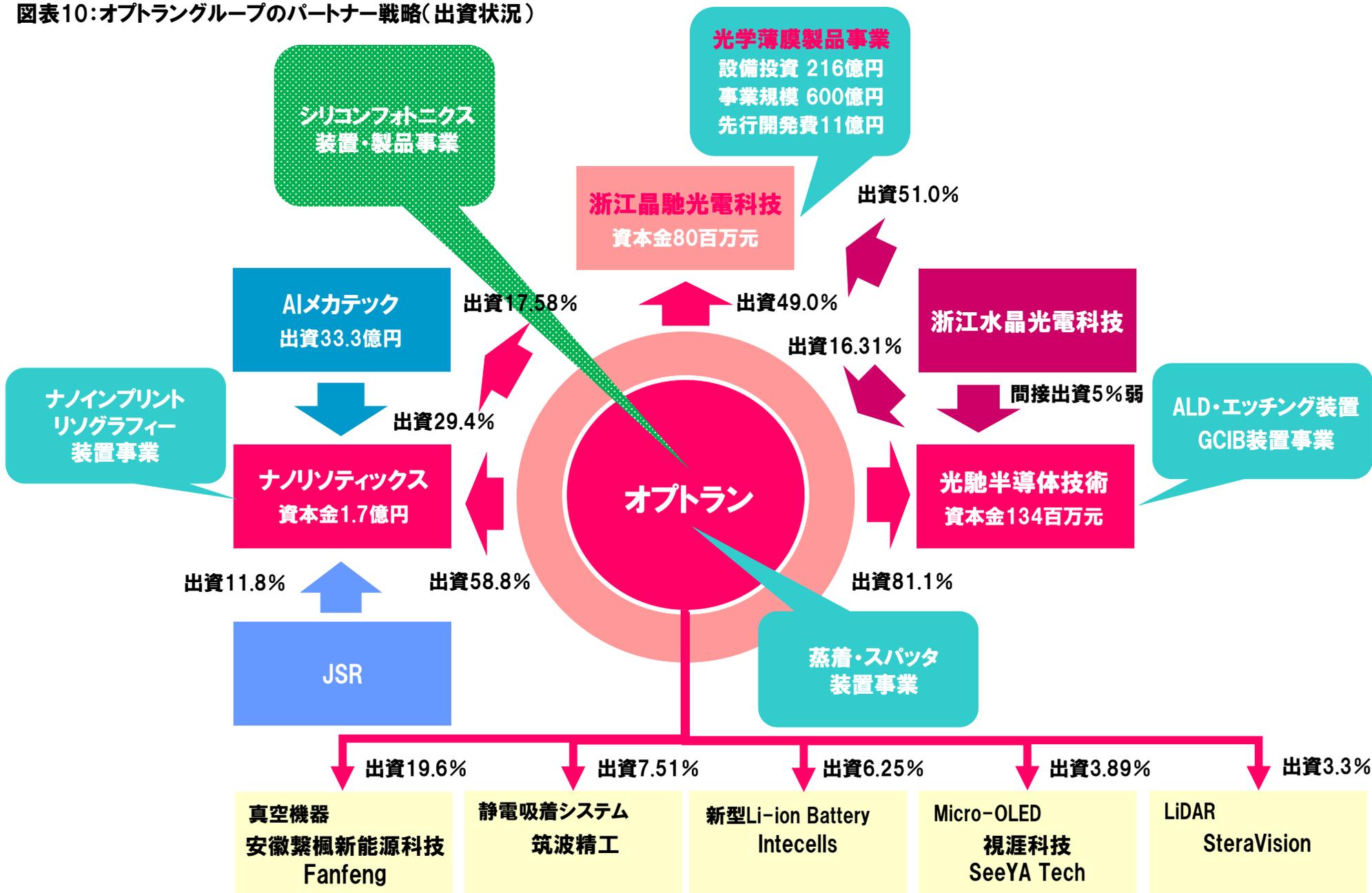
図表9: オプトラグループの新中期経営目標



注: 円グラフはグループ事業規模、NLTはナノリソティックス、AGIは汎用人工知能、ASIは人工超知能

光学薄膜成膜企業に変革、晶馳光電で光学薄膜成膜装置を活用する製品事業を事業化

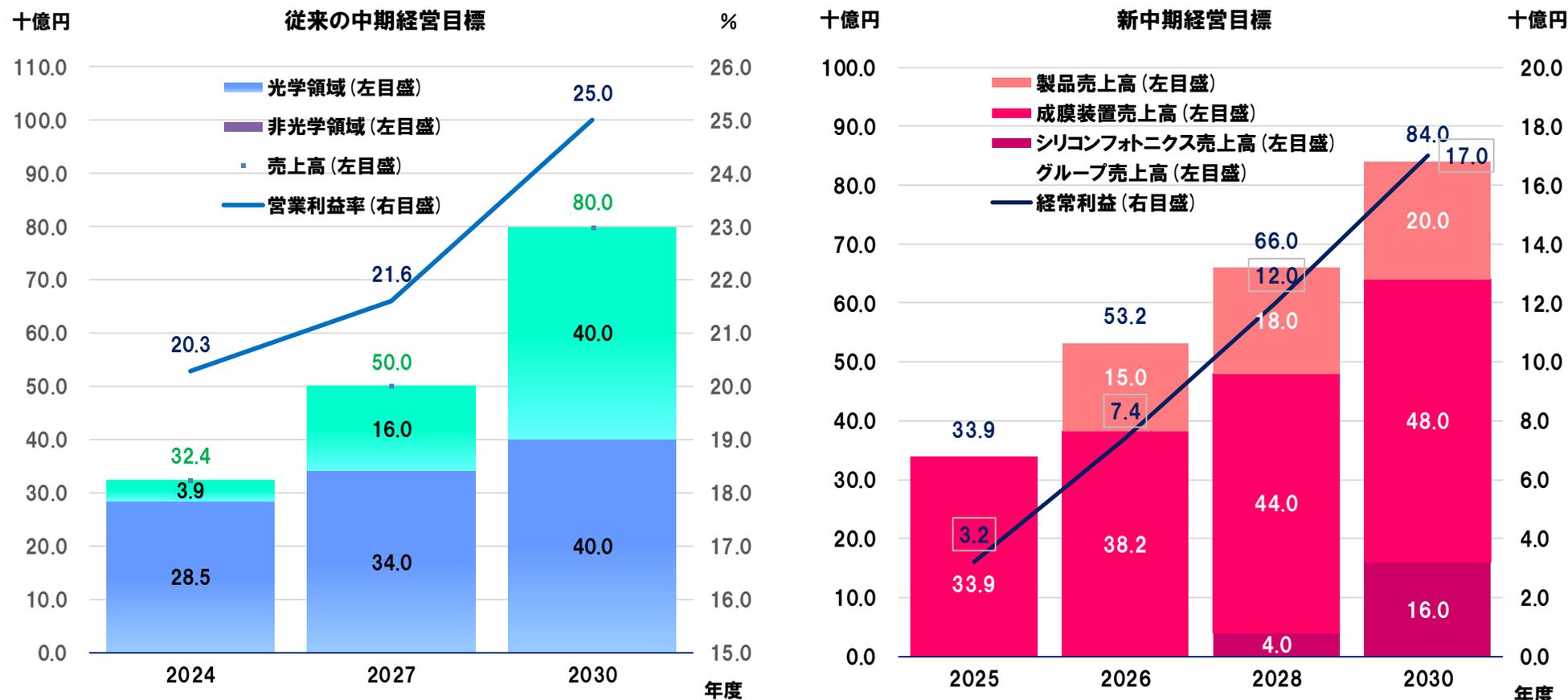
図表10: オプトラングループのパートナー戦略(出資状況)



第2次創業が始動、新中期経営目標を策定、最終的には光電融合企業を目指す



図表11: オプトランの中期経営目標



AGI(汎用人工知能)やASI(人工超知能)の実現に向けて産業構造が現変する予兆がある。スーパースケーラーはAI産業の急激な成長に対応する目的で、AIデータセンター(DC)への設備投資を加速化している。当社は通信関連のDWDM用光部品向けの蒸着装置を祖業するが、過去20年はスマホ市場の成長とともに光学薄膜製造装置事業を拡大させてきた。ところが、2022年11月のChatGPT3.5の公開を切っ掛けにAI革命が始まり、AI産業はスーパースケーラーのAI・DC投資拡大につれて成長が続いている。当社の光通信関連事業の25/12期受注高は前年比3倍の36億円と成長し、26/12期も50億円程度を想定している。

光通信事業はプラグマブル光トランシーバー向け光部品製造に使用される光学薄膜成膜製造装置が主力。AI・DC内ではLWDM、CWDMが主流だが、DWDMの需要が帯域需要の増大で急速に高まっている。光インターコネクタ需要はNPO(Near-Packaged Optics)、CPO(Co-Packaged Optics)、光I/O(Optical I/O)と発展することから、シリコンフォトニクス事業を早急に立ち上げ、光電融合企業にシフトさせる計画。

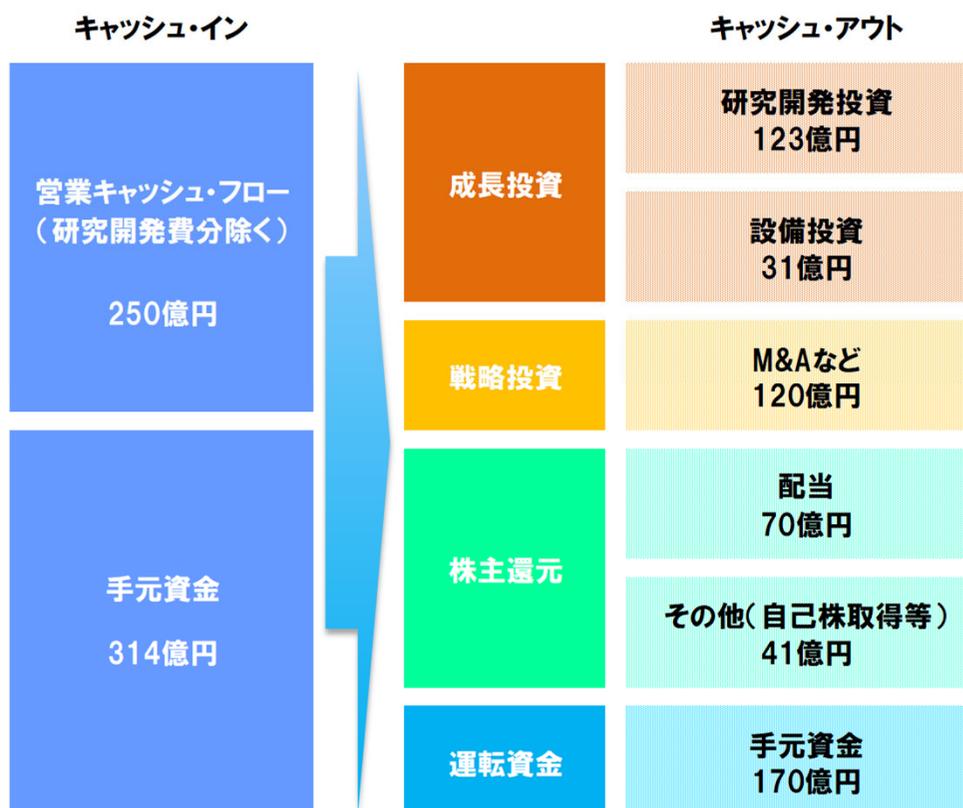
新中期経営目標は親会社株主に帰属する当期純利益率を15%以上に

図表12: オプトランの新中期経営目標とキャッシュ・アロケーション(25~27年度)

新中期経営目標(単位:億円、%)、()内は利益率

決算期	26/12期	28/12期	30/12期
グループ売上高【A】+【B】	532	660	840
【成膜製品】【A】	150	180	200
連結売上高【B】	382	480	640
【光学薄膜成膜装置】	382	440	480
【シリコンフォトニクス】	-	40	160
営業利益	62 (16.2)	100 (20.8)	140 (21.9)
営業外収支	12	20	30
経常利益	74 (19.4)	120 (25.0)	170 (26.6)
親会社株主に帰属する当期純利益	56 (14.7)	88 (18.3)	120 (18.8)
配当性向		30%以上	
ROE		10%以上	

キャッシュ・アロケーション(25~27年度)



当社は従来、中期経営目標として「営業利益率20%以上」、「ROE(自己資本利益率)10%以上」、「連結配当性向30%以上」としていたが、技術的なパートナーシップ企業との協業や資本効率の改善を踏まえて、新たな中期経営目標として「親会社株主に帰属する当期純利益率を15%以上」、「ROE10%以上」、「連結配当性向30%以上」に変更する。25年2月にはAIメカテックと資本業務提携(合併会社ナノリソティクスを含む)を実施し、26年からは浙江水晶光電科技と共同で出資する浙江晶馳光電科技において、光学薄膜成膜製造装置を活用した製品事業を開始している。今後、持分法損益が改善することを想定。

株主還元は1株当たり年間配当金として、24/12期において前年比2円増の52円、25/12期が同2円増の54円を想定し、26/12期も同2円増の56円の計画。自己株式取得は24/12期が約48億円、25/12期が約41億円を実施した。総還元性向(配当金額+自己株式取得額)は過去2年連続で100%を超えました。当社は日本取引所グループの東証株価指数(TOPIX)の改革案で想定している選定基準に準拠する株価向上施策(株主還元、IR活動の充実など)を進める方針。

図表13:光学薄膜成膜装置と仕組み

蒸着装置	スパッタリング装置	ALD(原子層堆積)装置
<p>真空中で蒸着材料を熱して蒸発または昇華させ、基板表面に付着させることで薄膜を形成させる装置。風呂場に材料をいれ、真空加熱する様なもの。</p>	<p>真空蒸着における熱の代わりに、ガス分子を薄膜材料にぶつけて薄膜を形成させる装置。スパッタリングの身近な例は古くなった蛍光灯は端が黒い。</p>	<p>原子層レベルで膜厚を制御して平坦で緻密な薄膜を形成する装置。平面基板からアスペクト比(縦横比)の高い立体構造物まで均一に成膜できる。</p>

